

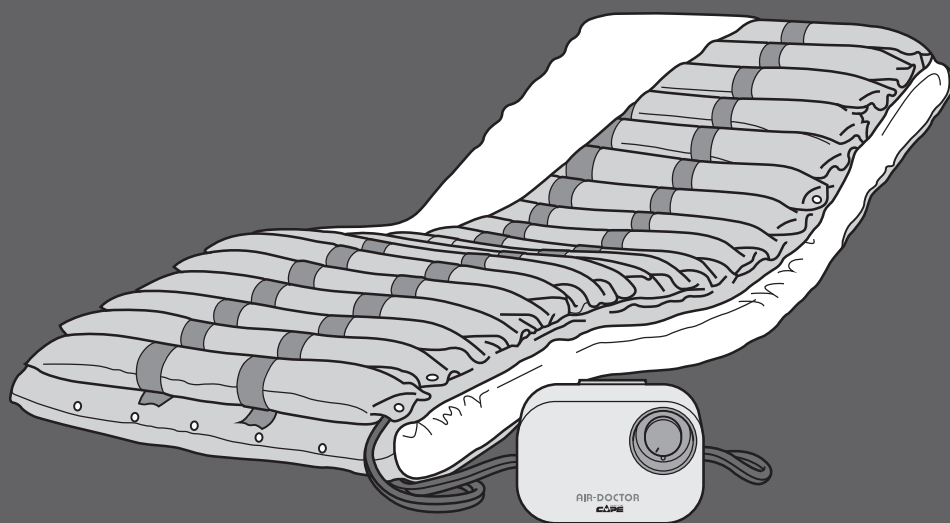
床ずれ防止用具 / 体圧分散式エアマットレス

エアドクター

AIR-DOCTOR

取扱説明書 —保証書付—

この度はエアドクターをお買い求めいただきありがとうございます。



もくじ

エアドクターについて	P. 2
安全にお使いいただくために ■重要安全情報 ■安全上のご注意	P. 4
設置の前に ■取扱説明書の見方 ■梱包内容の確認 ■各部の名称	P. 7
すぐ使いたいときに (設置手順早見表)	P. 9
設置をしましょう	P.10
実際に使用しましょう ■安全お知らせ機能 ■停電時の対応方法	P.14
お手入れ方法	P.17
点検ポイント	P.19
保管・破棄方法	P.20
故障かな?と思ったら…	P.21
アフターサービスについて	P.22
仕様	P.23
保証書(裏表紙)	P.24

取扱説明書について

- エアドクターのご使用に先立って、この取扱説明書を初めから最後まで必ずお読みください。
- いつでも読み返すことができるように、本書をエアドクターのそばに保管してください。
- 本書の裏表紙は保証書になっています。

エアドクターについて

エアドクターは、床ずれ防止用エアマットレスです。20本のエアセルと電子制御の圧力センサ内蔵ポンプによって構成されており、隣り合ったエアセルが約5分間隔で交互に膨張と収縮を繰り返します。エアセルとこの動きにより、体圧を分散するとともに、体重が特定箇所に加わり続けることを防ぎます。また、マットレスの内圧はポンプの圧力センサにより自動でコントロールされていますので、どなたでも簡単に適正圧力の管理が可能です。

エアドクターのご使用に際して

ご使用に際しては、専門家と相談の上、ご使用ください。

また、使用中に療養者の身体に異常が生じたり、不安を感じた場合は直ちに使用を止め、専門家に相談してください。

ご理解いただきたいこと

エアドクターは、床ずれ発生要因の一つである圧力の時間的継続性を断ち、床ずれを防止しようとする補助具です（医療機器ではありません）。

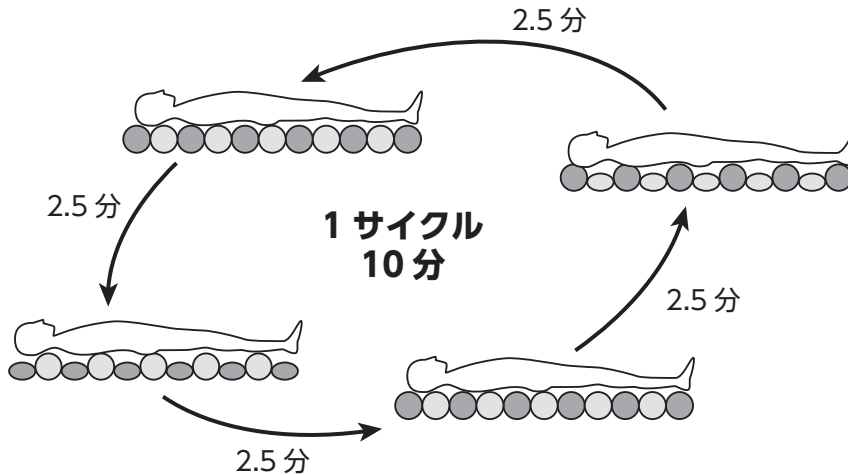
したがって、療養者の全身状態や様々な状況によっては、適切にご使用いただいても床ずれを防止できないことがあります。

これらのことをご理解いただき、ご使用くださいますようお願いいたします。

特長

■ 圧切替型エアマットレス

20本のエアセル(空気の筒)が交互に膨張・収縮を繰り返すことで、体重が特定箇所に加わり続けることを防ぎます。



■ マットレス内圧自動制御システム

体重設定ダイヤルを療養者の体重に合わせるだけ。ダイヤルは握りやすいデザインで、どなたでも簡単に操作できます。

■ 体重設定 30kg ~ 90kg

体重設定は30kgから5kg刻みで、90kgまで設定が可能です。

■ 容易なメンテナンス

万一エアセルがパンクしても、エアセル一本ごとに取り外して交換できるため、メンテナンスが容易で経済的。エアセルの素材は、丈夫で環境にやさしいポリウレタンフィルムです。なお、専用ポンプは3年保証です。

■ 安全性を高める2つの機能

1.安全お知らせ機能

マットレスのパンクや内圧低下を電源ランプの点滅でお知らせするマットレス内圧警告機能を搭載。

2.停電対策機能

停電時などにマットレス内の空気を保持するチューブ栓を装備。

■ 高機能な専用カバー

伸縮性に優れた、防水・抗菌付きの専用カバーを付属しています。

■ 薄型ポンプ

ポンプは居住空間を意識した薄型設計で、フットボードにかけやすいポンプフック仕様です。

安全にお使いいただくために

エアドクターの取り扱いにあたっては本書をよく読んでご理解いただき、必ず本書の指示に従ってください。

重要安全情報

エアドクターのご使用中に生じる可能性のある危険を回避するためには、その原因となる要素がどこにあるかを、予め知っておくことが不可欠です。しかし当社において、潜在的なあらゆる危険性を予想することは困難です。従って、本書には知り得る限りの安全に関する警告情報を、下記のように定義し記載してあります。



警告:このマークにある指示に従わなかった場合に、物的損害や負傷、死亡につながる恐れのある危険性を警告しています。特に重要なため、下記「安全上のご注意」にまとめて記載し、警告しています。



注意:このマークにある指示に従わなかった場合に、本商品が正常に機能しなくなる可能性を警告しています。

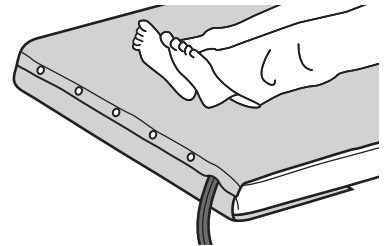
安全上のご注意 〈警告〉



エアドクターのご使用に際しては、必ず専門家と相談の上、ご使用ください。また使用中に身体に異常を感じたり、不安を感じた場合は直ちに使用を止め、専門家に相談してください。症状悪化や事故の恐れがあります。



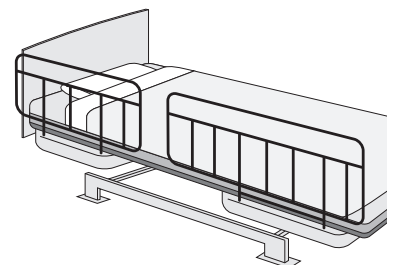
送風チューブが必ず足側になるようにエアドクターを設置してください。送風チューブが頭側になると、送風チューブが首にからんで重大な事故を招く恐れがあります。



エアドクターをご使用の際は、必ずベースマットレスを敷いた上に専用マットレスを敷いて、お使いください。



エアドクターのご使用に際しては、必ずベッドにサイドレールを取り付けてください。サイドレールを使用しない場合には、ベッドからの落下・転落を招く恐れがあり、事故の原因になります。



警告 5

エアドクターの上で、飛び跳ねないでください。ケガをしたり、破損の原因になります。またエアドクター専用マットレスの上で立ち上がったり、膝立ちしたりしないでください。局所に高い圧力がかかり続けるとエアセル破損の危険があります。

警告 6

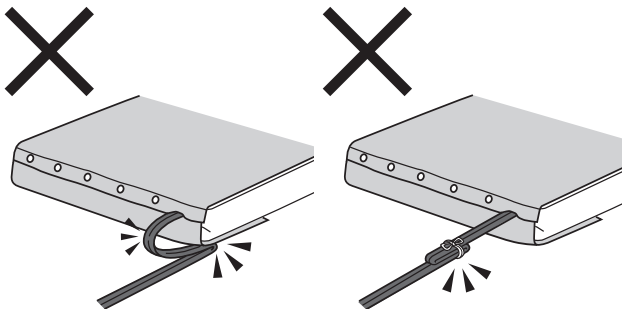
エアドクターの上で端座位や移乗する際には、必ず補助の方の立ち会いのもと行ってください。ベッドからの落下・転落を招く危険があります。

警告 7

エアドクターの上での喫煙はお止めください。火災の原因などになることがあります。

警告 8

送風チューブを束ねたり、エアドクター専用マットレスやベースマットレスの下に巻き込まないでください。送風チューブが折れ曲がったり圧迫されると、空気がエアマットレス内に送り込まれなくなり、エアマットレスとしての期待した効果が得られない恐れがあります。



警告 9

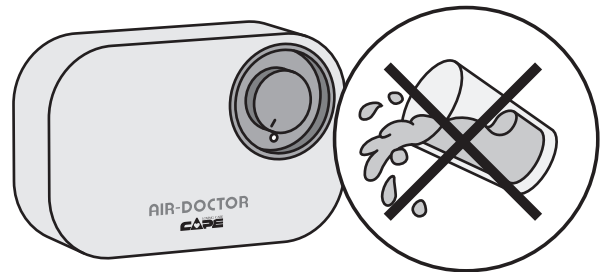
二人以上で使用しないでください。落下・転落を招く恐れがあり、事故の原因になります。また本来の性能を発揮できない恐れやエアドクター専用マットレス破損の原因になります。

警告 10

エアドクター専用ポンプをフットボードに掛けて使用する場合は、ポンプフックが療養者の足に当たらない位置に設置してください。ケガの原因になることがあります。またエアドクター専用ポンプに足をかけたり、掛け布団などがかかると思わぬ体重設定ダイヤルの誤操作の原因となりますので、エアドクター専用ポンプの上にものを置かないでください。

警告 11

エアドクター専用ポンプを湿気の多い場所で使用したり、エアドクター専用ポンプに水や尿などの液体をかけたり、こぼしたりしないでください。感電事故や故障の原因になります。



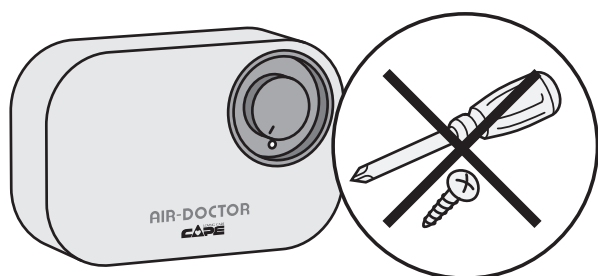
注意

直射日光の当たる場所、高温多湿な場所を避け、湿気がこもらないように壁から5cm以上離して設置してください。

安全にお使いいただくために

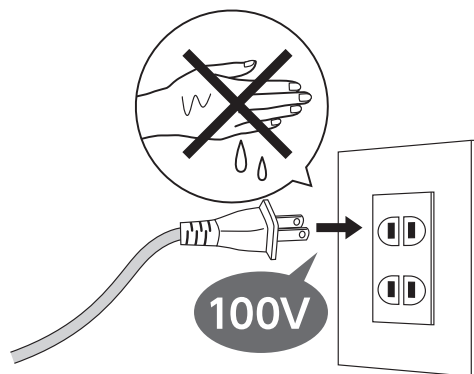
警告 12

ご自分で修理するためにエアドクター専用ポンプのネジを取り外し、ケースを開けることは絶対にしないでください。感電事故や故障の原因となります。またエアドクター専用ポンプを当社に承諾無しに改造したりすることは、安全上重大な影響を及ぼす恐れがあります。決してお客様による改造は行わないでください。



警告 13

エアドクター専用ポンプの電源プラグは、必ず日本国内の家庭用コンセント(AC100V, 50Hz/60Hz)に確実に差し込んでお使いください。これ以外の電圧で使用すると、火災事故や故障の原因となります。また濡れた手で、電源プラグの抜き差しを行わないでください。感電事故や故障の原因になります。



警告 14

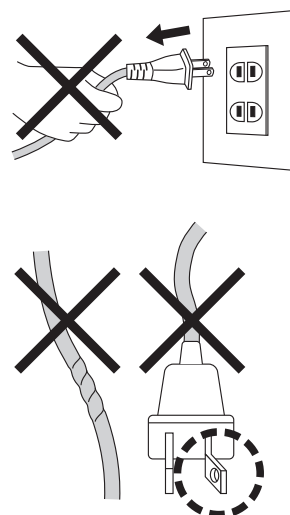
エアドクターの専用マットレスと専用ポンプ以外の組み合わせでは、絶対に使用しないでください。期待した効果が得られないばかりか、火災事故や故障の原因になります。

警告 15

エアドクターを長期間使用しないときやエアドクター専用ポンプのお手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから外してください。火災事故や感電事故、故障の原因になります。

警告 16

エアドクター専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたり、破損させたり、ドアに挟んだりしないでください。またコンセントから電源プラグを抜く際には、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故や火災事故、故障の原因になります。



取扱説明書の見方

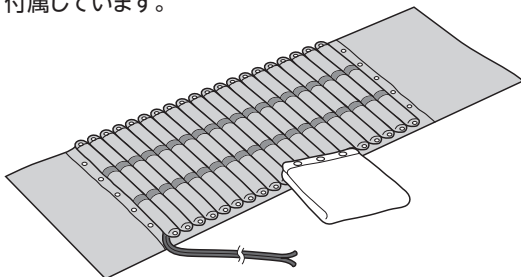
- 必ず、初めから最後まで通してお読みください。
- 使用を開始してからも、困ったこと、わからないこと、不安なことなどが生じた場合には直ちに使用を止め、「故障かな? と思ったら…」(P.21)を参照し、解決のための情報を得てください。故障でない場合、その問題についての参照ページが記載されています。
- 上記の方法で解決が得られない場合は、裏面の保証書をご覧になり、お買い上げになった販売店、もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください。
- エアドクター専用ポンプ及びエアドクター専用マットレスは本書において、「専用ポンプ」「専用マットレス」と表記いたします。

梱包内容の確認

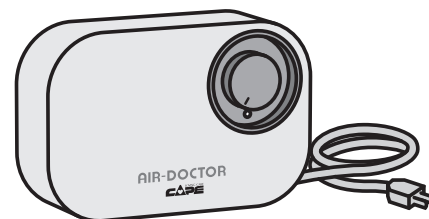
- お手元にお届けした梱包には、以下のものが入っています。ご確認ください。

専用マットレス(専用カバー付属)…×1

専用カバーは専用マットレスに
付属しています。



専用ポンプ(ポンプフック付属)…×1



取扱説明書(保証書付/本書)…×1



設置の前に

各部の名称

専用ポンプ

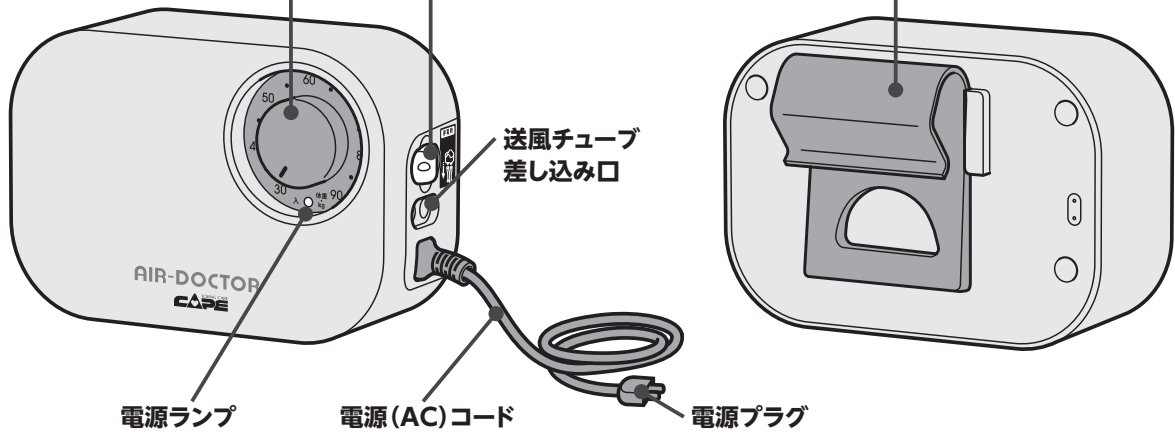
前部

体重設定ダイヤル

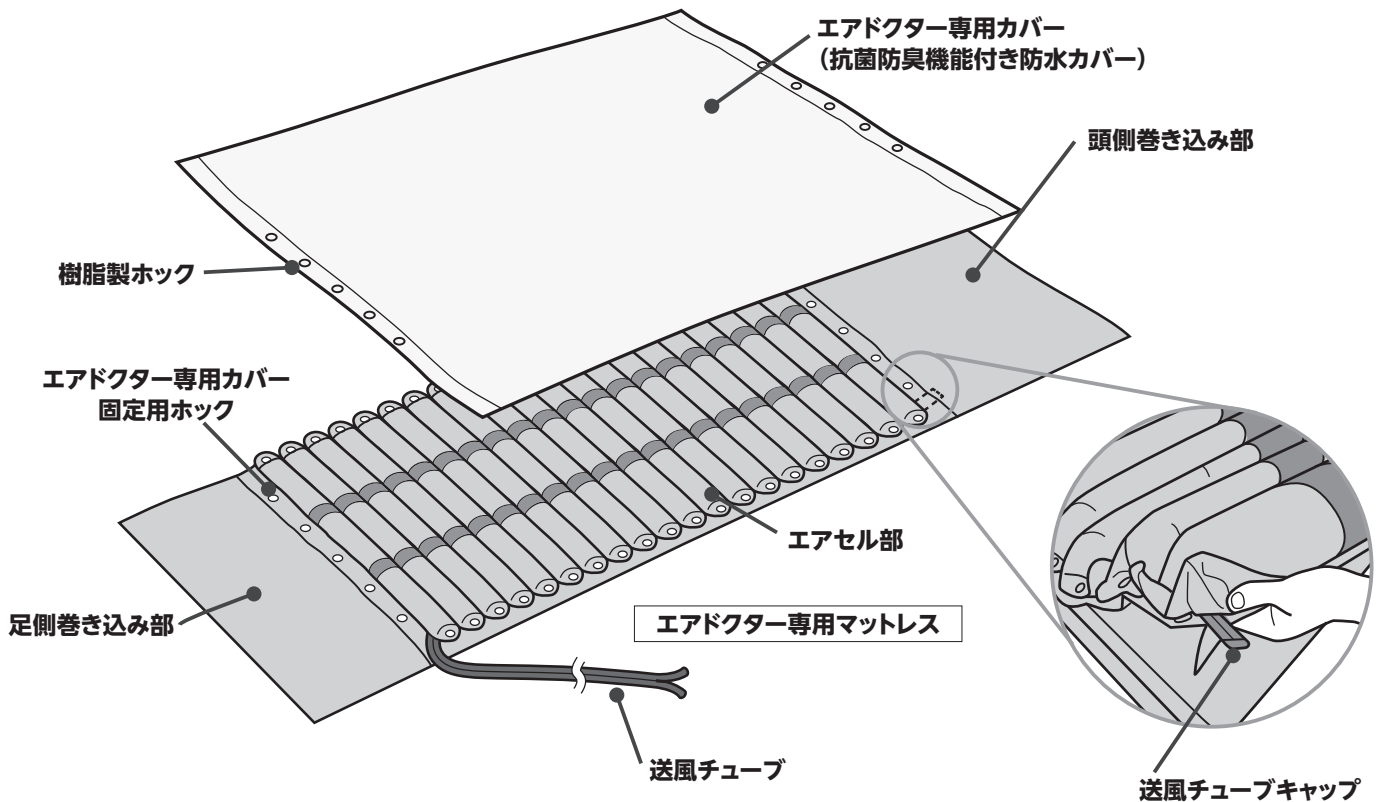
チューブ栓

後部

ポンプフック



専用マットレス(専用カバー付属)

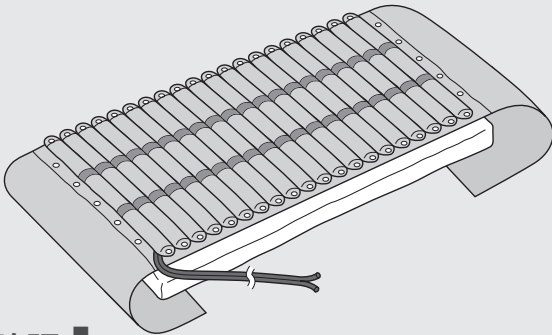


すぐ使いたいときに（設置手順早見表）

1

専用マットレスをベースマットレスに固定します。

- 頭側巻き込み部、足側巻き込み部をベースマットレスに巻き込んで固定してください。



確認

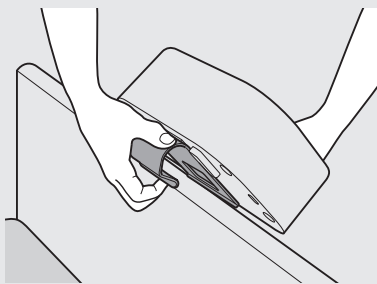
- 必ず、送風チューブがある方を足側にして、設置してください。

※送風チューブは専用マットレスの下に巻き込まないこと。

2

専用ポンプを正しく設置します。

- フットボードのあるベッドをご使用の場合、ポンプフックを引っ掛けて設置してください。
- フットボードがない場合は床などの水平な場所に置いてください。

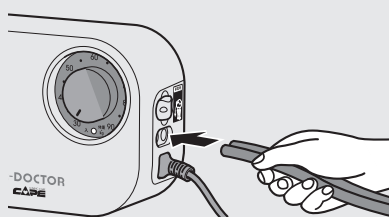


3

専用ポンプに送風チューブを接続します。

- 専用マットレスの送風チューブを正しく接続します。

→詳しい接続方法はP.12をご参照ください。



4

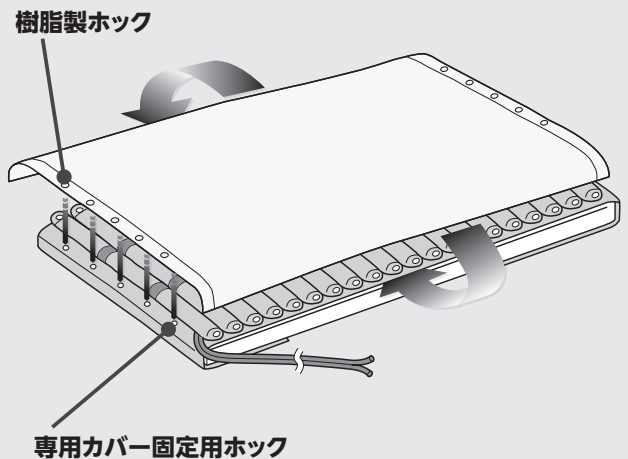
電源プラグをコンセントにつなぎます。

- 自動で電源が入ります。

5

付属の専用カバーを専用マットレスに固定します。

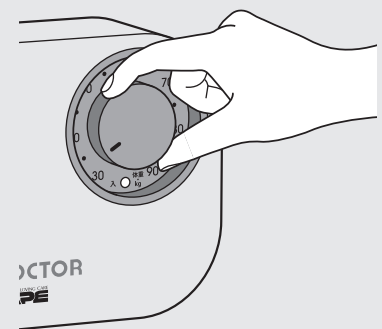
- 約20分後、専用マットレス全体が十分膨らんでいるか確認します。



6

療養者の体重に設定します。

- 体重設定ダイヤルを回し、療養者の体重に合わせます。



設定後約5分で使用可能となります。

7

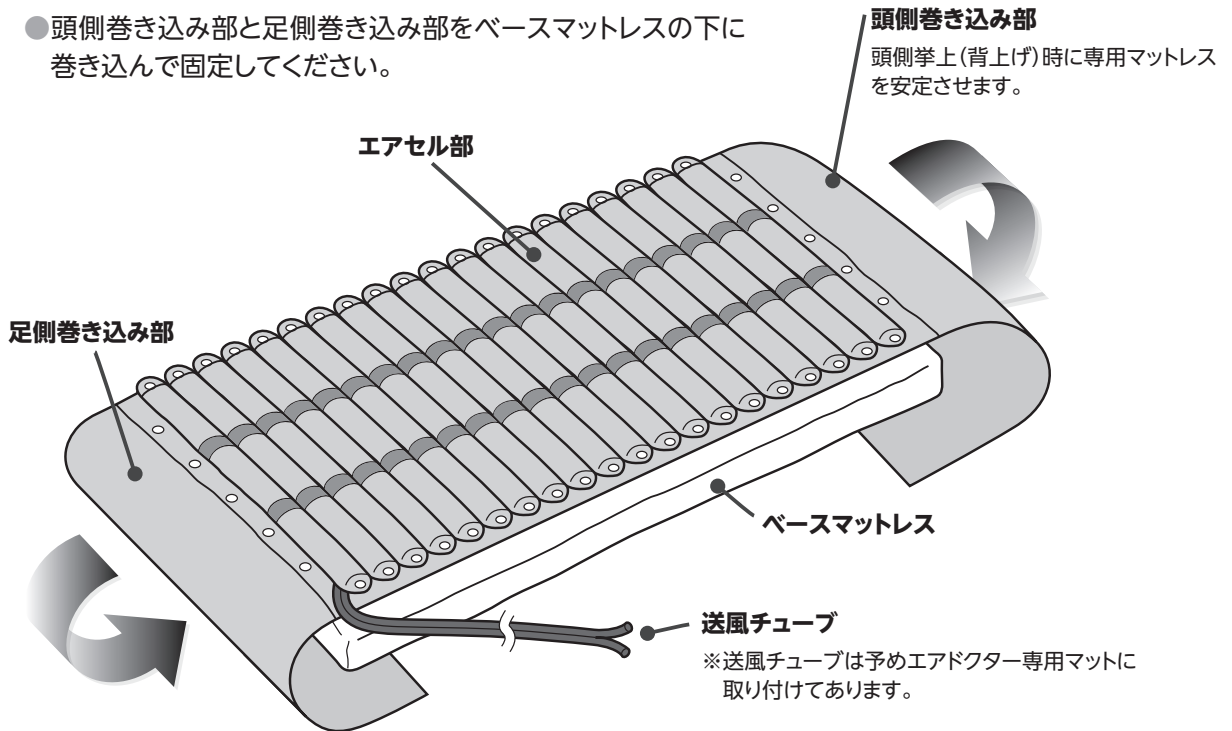
療養者に寝てもらいます。

設置をしましょう

1

専用マットレスをベースマットレスに固定します。

- 頭側巻き込み部と足側巻き込み部をベースマットレスの下に巻き込んで固定してください。



確認

- 送風チューブが必ず足側になるように設置してください。

※送風チューブは専用マットレスの下に巻き込まないでください。

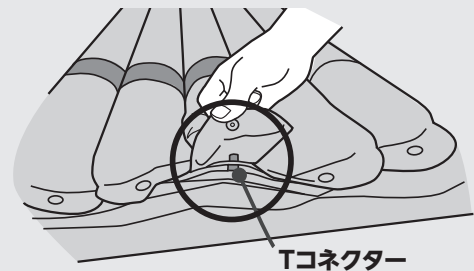


- 送風チューブが必ず足側になるように専用マットレスを設置してください。送風チューブが頭側になると、送風チューブが首にからんで重大な事故を招く恐れがあります。
- 必ずベースマットレスを敷いた上に専用マットレスを敷いて、お使いください。

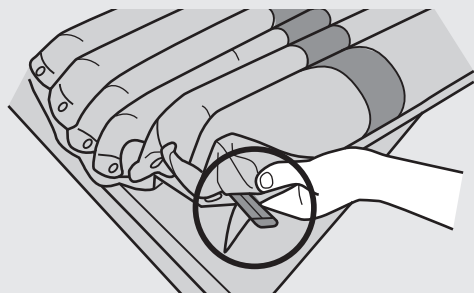
点検ポイント

専用カバーを開き、以下の2点をご確認ください。

- 送風チューブにエアセルが接続されている。



- 送風チューブキャップがしっかり差し込まれている。



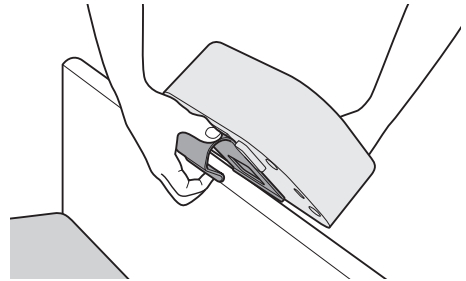
※送風チューブキャップはエアを抜くための栓ではありません。

2

専用ポンプを正しく設置します。

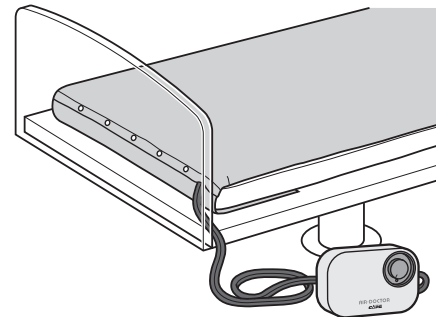
1 ベッドでご使用の場合

- 専用ポンプのポンプフックに指を掛けて持ち上げ、ベッドのフットボードの中央部に引っ掛けて設置してください。



2 引っ掛ける場所のないベッドでご使用の場合

- 専用ポンプを足側などの邪魔にならない位置の水平で安定した場所に立てた姿勢で置いてください。



- 送風チューブを束ねたり、専用マットレスの下に巻き込まないでください。送風チューブが折れ曲がったり圧迫されると、空気がエアマットレス内に送り込まれなくなり、エアマットレスとしての期待した効果が得られない恐れがあります。
- 専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたり、破損させたり、ドアに挟んだりしないでください。またコンセントから電源プラグを抜く際には、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故や火災事故、故障の原因となります。
- 専用ポンプをフットボードに掛けて使用する場合は、ポンプフックが療養者の足に当たらない位置に設置してください。ケガの原因になることがあります。また専用ポンプに足をかけたり、掛け布団などがかかると思わぬ体重設定ダイヤルの誤操作やポンプの温度を異常に上昇させる原因となりますので、専用ポンプの上にものを置かないでください。

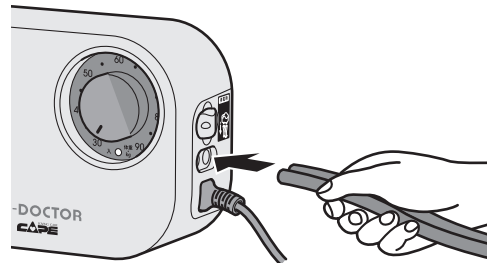


- 専用ポンプはフットボードの中央部に設置してください。端部に設置すると、落下する恐れがあります。
- 専用ポンプをベッドの脚部などに直接触れさせないでください。振動音を発する恐れがあります。また枕元への設置も避けてください。わずかな作動音ですが安眠を妨げる可能性があります。
- ベッド昇降時にフットボードと壁などの間に専用ポンプがはさまれて脱落したり、破損しないよう十分な空間を確保してください。
- 専用ポンプの高さは、17.9cmです。専用ポンプを床に設置する場合、高さ調節のできるベッドのフレームと床との間に挟まれないよう注意してください。ベッドの高さを下げる際、フレームと床の間に挟まり、専用ポンプが破損する恐れがあります。
- 専用ポンプの足ゴムは、プラスチック系床材などの床材に着色移行する場合があります。じかに床へ置く(設置)場合は、足ゴムが床材に直接触れないよう、布や紙を敷いてその上に専用ポンプを置いてください。
- 専用ポンプをフットボードから取り外す際は、ポンプを垂直に引き上げてください。無理な力をかけたり、前方や斜めに引き上げるとポンプフックが破損する可能性があります。

設置をしましょう

3

専用ポンプに送風チューブを接続します。



約1cm程度を目安に、送風チューブを差し込んでください。

専用ポンプの側面にある送風チューブ差し込み口にそれぞれ差し込みます。

1本ずつ奥まで差し込んでいることを確認してください。

※送風チューブの差し込みは、左右を問いません。



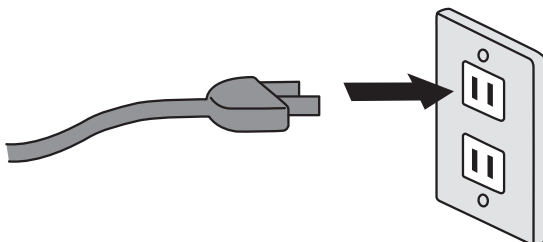
専用ポンプを湿気の多い場所で使用したり、専用ポンプに水や尿などの液体をかけたり、こぼしたりしないでください。感電事故や故障の原因となります。



送風チューブが外れないように、送風チューブを確実に接続してください。エアセルに空気が送られないと、エアドクターは機能しません。

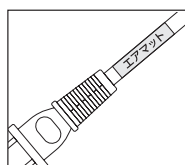
4

電源プラグをコンセントにつなぎ、専用ポンプを作動させてエアセルを膨らませます。



専用ポンプの電源プラグは、必ず日本国内の家庭用コンセント (AC100V, 50Hz/60Hz) に確実に差し込んでお使いください。これ以外の電圧で使用すると、火災事故や故障の原因となります。また濡れた手で、電源プラグの抜き差しを行わないでください。感電事故や故障の原因となります。

プラグには識別しやすいように、「エアマット」の文字入りです。



専用マットレスに業務用エアコンプレッサーなどで急激に空気を入れると、エアセルが破裂する危険があります。専用マットレスに空気を入れる際は、「専用ポンプ」をご使用ください。空気を入れ過ぎると、エアセルが破損する危険があります。

- 専用ポンプの電源プラグを、家庭用コンセント (AC100V,50Hz/60Hz) に差し込みます。
- 電源プラグを差し込むと自動で電源が入ります。

■ 説明 ■

- 送風チューブが折れ曲がっていると、専用マットレスに十分な空気が送られません。

5

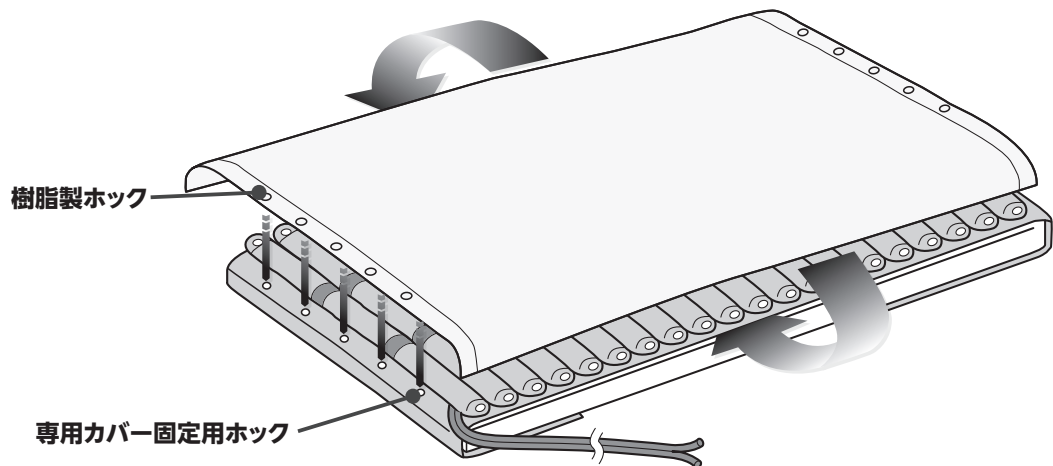
付属の専用カバーを専用マットレスに固定します。

- 約20分後、専用マットレス全体が十分膨らんでいるか確認します。

■ 確認 ■

専用マットレスのエアセルが1本おきに抜けたように見える場合がありますが、正常な膨張・収縮動作です。(P.3イラスト参照)

- 専用カバーに付いている樹脂製ホックを、専用マットレスの頭側、足側にそれぞれ5個ずつある専用カバー固定用ホックにはめます。
- 横方向の余分な専用カバーは、専用マットレスだけを包むようにベースマットレスとの間へ巻き込みます。



注意

- 専用カバーは必ず装着してご使用ください。外してご使用になるとエアセルやベースシートに埃などが溜まり、汚れやカビ発生の原因となります。またエアセル保護のためにも必要です。
- 送風チューブキャップは取り外さないでください。

■ 確認 ■

送風チューブが足側になっていることを確認してください。

注意

- 専用マットレスの表面を、針や先のとがったもので刺したり、傷つけたりしないでください。エアセルのパンクの原因となり、エアドクターが正しく機能しなくなります。
- 専用カバーと専用マットレスとの間には、ベッド用パッドなどを入れないでください。期待した性能が得られない恐れがあります。

■専用カバーは別途にお買い求めいただけます。

本製品ご購入先、もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください。

実際に使用しましょう

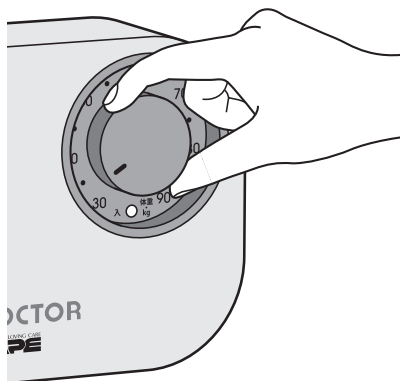
1

療養者の体重を設定します。

- P.10～P.13の準備を行い、専用マットレスのエアセルが膨らんでいる状態にします。
- 体重設定ダイヤルを療養者の体重に合わせてください。

確認

- 頭側挙上(背上げ)機能のあるベッドは頭側挙上(30度までを限度としてください)させて専用マットレスがずれないことを確認してください。



説明

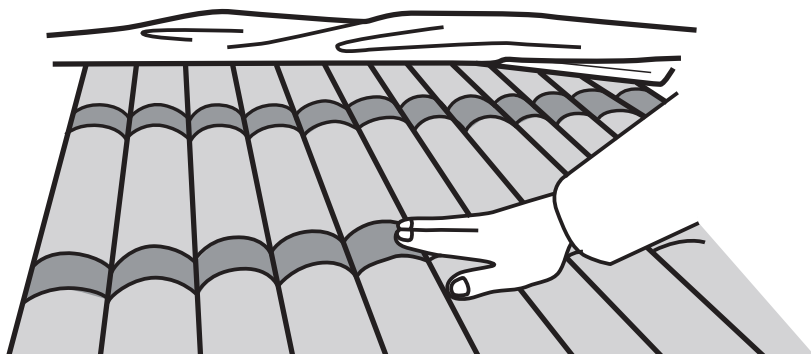
体重設定後、専用ポンプから送られる空気圧が変化し、安定するまで約5分かかります。

2

約20分後、専用カバーを開き、エアセルに空気が入っているか確認します。

確認

- 専用マットレスのエアセルが膨らんでいることを確認してください。



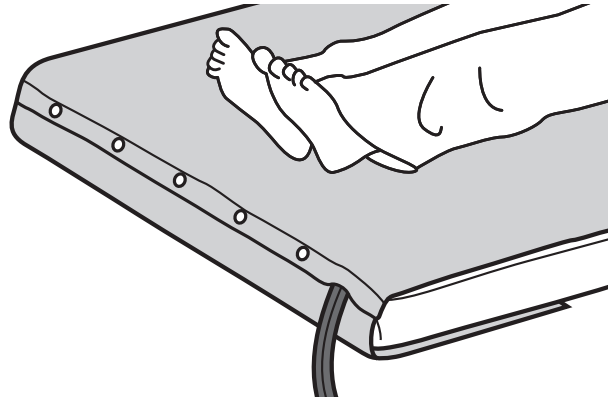
3

療養者に寝てもらいます。

- マットレス全体の内圧を調圧後、通常の交互膨縮動作を開始します。

確認

送風チューブが取り付け
ある方が足側になっているこ
とを確認してください。



- エアドクターをご使用の際は、必ずベッドにサイドレールを取り付けてください。サイドレールを使用しない場合には、ベッドからの落下・転落を招く恐れがあり事故の原因になります。
- 専用マットレスの上で、飛び跳ねないでください。ケガをしたり、破損の原因になります。
- 専用マットレスの上で端座位や移乗する際には、必ず補助の方の立ち会いのもと行ってください。ベッドからの落下・転落を招く危険があります。
- 2人以上で使用しないでください。落下・転落を招く恐れがあり事故の原因になります。また本来の性能を発揮できない恐れやマットレス破損の原因になります。
- エアドクターをご使用の際は、必ずベースマットレスを敷いた上に専用マットレスを敷いて、お使いください。



- 電源を入れてから20分間は使用しないでください。空気が十分に入っていないため、期待した効果が得られません。
- ご使用になる前にマットレス内に空気が入っているか確認してからご使用ください。また専用マットレス表面の一部が極端に凹んでいたり、飛び出しているなど、異常と思われる場合はご使用を中止し、お買い上げの販売店または株式会社ケーブへお問い合わせください。
- 専用マットレスの上で鋭利な物は使用しないでください。破損の原因などになることがあります。

実際に使用しましょう

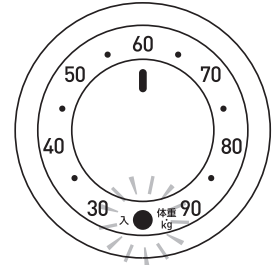
安全お知らせ機能

専用ポンプには、エアセルの内圧異常を電源ランプの点滅でお知らせする機能があります。

安全お知らせ機能は、電源プラグを抜き差しすることで解除できます。

■ 説明 ■

点滅があった場合の対処方法は、「故障かな?と思ったら…」(P.21)をご覧ください。



停電時の対応方法

停電時は、エアマットレスへの空気の供給が止まります。時間の経過とともに空気が少しずつ漏れ出しますが、急速に空気が漏れる訳ではありませんので、ご安心ください。

空気の漏れは、療養者の状態(体重・活動性・体位など)やエアマットレスの動作状態により異なります。

短時間の停電 3時間以内

特別な操作の必要はなく、そのままご使用になれます。

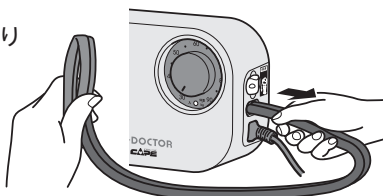
長時間の停電 3時間以上

長時間の停電などが予測される場合は、空気の流出を防ぐため下記の対応をお願いします。

手順 1

空気が漏れないように、送風チューブを途中でしっかり折り曲げてから、送風チューブを取り外します。

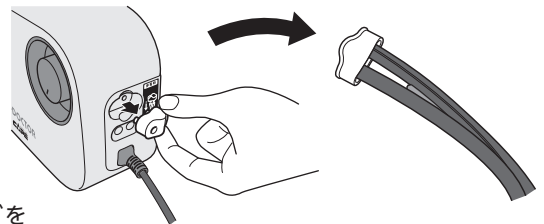
送風チューブを折り曲げます。



一連の作業は、チューブを折ったまま行ってください。

手順 2

ポンプ右側面からチューブ栓を取り外し、送風チューブに挿します。



■ お願い ■

電力が復旧するまで2時間おきに体位変換をお願いします。

復旧時の安全確認と再設定を!

停電復旧後、療養者の状態をご確認いただくとともに、再度送風チューブを途中で折り曲げ、折った状態のままチューブ栓を取り外した後、送風チューブを専用ポンプの送風チューブ差し込み口に奥までしっかり差し込みます。

その後、電源が入っていることを確認して使用してください。

停電復旧時のマットレスの状態にもよりますが、最大で20分程度でエアが充填され、通常にご使用いただけるようになります。

専用カバーのお手入れ

洗濯

- 1 表面に付着した汚れを予め取り除いた後、専用カバーをマットレスから取り外します。
- 2 洗濯機で弱水流洗濯ができます。洗濯機による洗濯、または手押し洗いをしてください。
- 3 低い温度での tumble 乾燥ができます。乾燥機による乾燥、または陰干しをしてください。

洗濯の際は、商品に取り付けられている品質表示ラベル(洗濯ラベル)をご参照ください。

清拭

- 汚物(汚れ、便、血液等)を取り除いて、水または、中性洗剤を水で薄めたものでマットレスの表面を拭いてください。
- 消毒用エタノールを使用する場合は濃度70%以上83%以下、次亜塩素酸ナトリウム液を使用する場合は濃度1,000ppm(0.1%)以下での清拭が可能です。

■ お願い ■

- ドライクリーニング(石油系は除く)、オートクレープは、表面のポリウレタン樹脂を傷めますので使用しないでください。
- 洗濯後は十分にすすぎを行ってください。
- tumble 乾燥機を使用する場合、槽内の詰めすぎ、長時間の乾燥に注意してください。
- 乾燥機による乾燥後は自然乾燥を行ってください。
- カバー損傷防止のため洗濯ネットを使用してください。
- アイロン、スチームプレスは絶対に使用しないでください。

注意

- 防水カバーを洗濯機で脱水する場合、防水部分に水が溜まることにより、洗濯機に負荷が掛かり故障や異常振動による転倒事故を招く危険があります。お客様の都合により洗濯機を使用する場合は、防水部分に溜まった水を大きめに取り除いた上で、脱水を行ってください。
- 次亜塩素酸ナトリウムを使用する場合、使用する次亜塩素酸ナトリウム液の使用法、注意書きをよく確認したうえで行ってください。
- 消毒液を利用した空間噴霧は、目や皮膚などへの刺激、および吸入により人体へ影響を及ぼす可能性があると考えられています。取扱いには十分ご注意ください。

専用ポンプのお手入れ

- 1 コンセントから電源プラグを抜きます。
- 2 布に薄めた中性洗剤かぬるま湯(50℃以下)を含ませ、固くしぼります。
- 3 2の布で、専用ポンプの表面の汚れをふき取ります。

■専用ポンプが汚れてしまったとき

ヒビテン溶液、エタノールのそれぞれ希釈した溶液を布に含ませ、拭いてください。

■ お願い ■

ベンジン、シンナー、クレゾールなどは、材質を傷めますので使用しないでください。



- 専用ポンプの電源プラグは、必ず日本国内の家庭用コンセント(AC100V, 50Hz/60Hz)に確実に差し込んでお使いください。これ以外の電圧で使用すると、火災事故や故障の原因となります。また濡れた手で、電源プラグの抜き差しを行わないでください。感電事故や故障の原因となります。
- 長期間使用しないときや専用ポンプのお手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから外してください。火災事故や感電事故、故障の原因となります。
- 専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたり、破損させたり、ドアに挟んだりしないでください。またコンセントから電源プラグを抜く際には、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故や火災事故、故障の原因となります。

お手入れ方法

専用マットレスのお手入れ

1 専用ポンプから送風チューブを外します。
エアセル内の空気を抜いてください。

2 専用カバーを取り外します。

3 送風チューブにチューブ栓を装着します。

4 エアセルを掃除します。
下記の「洗浄方法」をご覧ください。

5 日陰で吊り干し、自然乾燥させます。

6 お手入れ後、専用カバーを取り付けます。

注！ 意

- 専用マットレスから送風チューブを取り外さないでください。接続できなくなったり、接続部が破損したりする恐れがあります。
- 専用マットレスは、数種類の素材により構成されており、素材の特性上、変色や色移り、風合い変化などの経年変化が生じる場合があります。また、お客様のご使用環境や使用頻度などお取り扱い状況により、変化の進行状態は異なります。なお、変色や色移り、風合い変化など経年的要因による変化が生じた場合でも品質・機能に影響はありません。

■ 洗浄方法

中性洗剤を水で約20倍に薄め、洗剤を含ませてふき取ってください。

汚れがひどいときは、少量の水をかけて柔らかいブラシで軽くこすってください。

■ お願い ■

ベンジン、シンナー、クレゾールなどは、材質を痛めますので使用しないでください。

チューブから水が進入するのを防ぐため、必ずチューブ栓を装着して洗浄してください。

こまめに点検しましょう

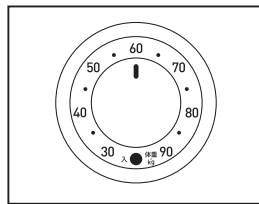
- ご使用中は、できるだけ1日に1回は、専用マットレスの状態を確認することをお勧めします。エアセルに適切に空気が入っているか、状態をご確認ください。なお、設置場所を変えた場合や、停電などで一時的に作動が停止した場合などは、その都度状態を確認してください。
- 異常や変化が感じられるとき、また困ったこと、わからないこと、不安なことが生じた場合には、「故障かな?と思ったら…」(P.21)をご覧ください。確認してください。

点検ポイント 1

P.14参照

療養者の体重に合わせた設定になっていますか?

設定した体重にダイヤルが合っていることを確認してください。

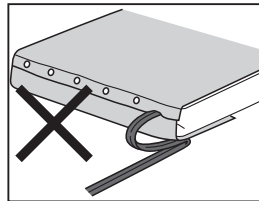


点検ポイント 2

P.5参照

送風チューブが折れ曲がっていませんか?

送風チューブのねじれや折れ曲がりを直してください。

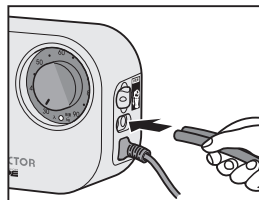


点検ポイント 3

P.12参照

送風チューブはポンプに正しく差し込まれていますか?

送風チューブがしっかりと接続されているか確認してください。

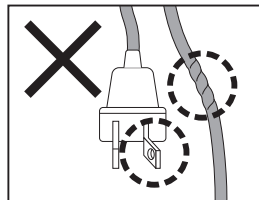


点検ポイント 4

P.6参照

電源コード・プラグは破損していませんか?

破損している場合は、株式会社ケーブに点検・交換を依頼してください。

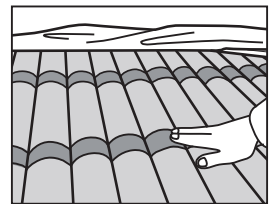


点検ポイント 5

P.14参照

エアセルが破損していませんか?

専用カバーを開き、エアセルを手で触り空気が入っているか、確かめてください。

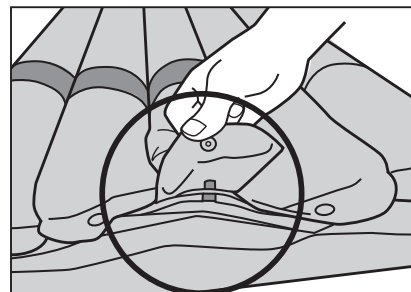


点検ポイント 6

P.10参照

全てのエアセルが送風チューブと繋がっていますか?

エアセル下側のTコネクターが送風チューブに差し込まれているか確認してください。

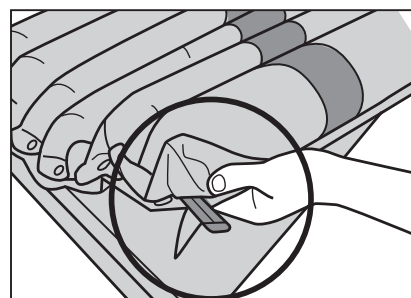


点検ポイント 7

P.10参照

送風チューブキャップはしっかりと差し込まれていますか?

専用マットレス頭側の送風チューブ先端にチューブキャップが差し込まれているか確認してください。



保管・破棄方法

保管方法

ご使用を止め、保管される場合は以下の手順で保管してください。

1 専用ポンプの電源プラグをコンセントから抜きます。

2 専用ポンプから送風チューブを取り外し、エアセル部の空気を抜いてください。

3 「各部のお手入れ方法」と同様に、汚れを落とします。

4 専用マットレスは折りたたみ、お届け時に入っていたビニール袋に入れます。

5 専用ポンプは電源コードを束ねて、お届け時に入っていたビニール袋に入れます。

6 それぞれを、お届け時に入っていた箱に納めて、保証書(本取扱説明書)と共に保管します。

■ お願い ■

- 落下しないよう、安定した所に置いてください。
- 箱がつぶれるような重い物を、上に載せないでください。
- 湿気の少ないところに保管してください。
- 運搬の際には、落下や衝突を避けるようご注意ください。ポンプ破損の恐れがあります。

破棄方法

各パーツを素材ごとに分け、各行政のゴミ分別方法に従って廃棄してください。

症状	考えられる原因	対処方法	本書の参考ページ
ポンプが作動しない (電源ランプが点灯していない)	電源プラグがコンセントに入っていない	電源プラグをコンセントに差し込んでください	P.12
電源ランプが点滅している	いくつかの原因が考えられます	電源プラグを抜き、下記の確認を行ってください。その後電源プラグを差し込んでください。自動的に電源が入ります約60分後、再度点滅する場合にはお問い合わせください	
	専用ポンプの送風チューブ差し込み口から送風チューブが抜けている	送風チューブを、専用ポンプの送風チューブ差し込み口に、奥までしっかり差し込んでください	P.12
	エアセルのTコネクタが、送風チューブから外れている	専用カバーを取り外し、全てのエアセルTコネクタ部を送風チューブに差し込んでください	P.10
	エアセルがパンクしている	パンクしたエアセルを新しいエアセルと交換してください	お問い合わせください
マットレスが膨らまない/ 柔らかすぎる	ポンプが作動していない	電源プラグをコンセントに差し込んでください	P.12
	専用ポンプの送風チューブ差し込み口から送風チューブが抜けている	送風チューブを、専用ポンプの送風チューブ差し込み口に、奥までしっかり差し込んでください	P.12
	送風チューブが折れ曲がっている	送風チューブを伸ばしてください	P.5
	体重設定ダイヤルの調整が誤っている	体重設定ダイヤルを適正に調整してください	P.14
	エアセルがパンクしている	パンクしたエアセルを新しいエアセルと交換してください	お問い合わせください
エアセル部分が部分的にしか膨らまない	エアセルのTコネクタが、送風チューブから外れている	専用カバーを取り外し、全てのエアセルTコネクタ部を送風チューブに差し込んでください	P.10
	エアセルがパンクしている	パンクしたエアセルを新しいエアセルと交換してください	お問い合わせください
マットレスが硬すぎる	体重設定ダイヤルの調整が誤っている	体重設定ダイヤルを適正に調整してください	P.14
ポンプの作動が一時的に停止する	一時的なら問題ありません		
ポンプの音が異常に大きい	ポンプの上にもものがのっている	上にもっているものを取り除いてください	P.11
	ポンプが他のものに接触している	接触しているものから離してください	P.11
	ポンプを振動しやすいものの上に置いている	ポンプを安定した場所へ設置してください	P.11
	ポンプが水平に設置されていない	ポンプを水平に設置してください	P.11
停電が発生した		停電時の対応方法をご参照ください	P.16



エアドクターをお使いになっていて、または点検の際に何らかの異常や変化、疑問を感じられたときは、上記のことを確認し、それぞれについての説明が記載されている参照ページをご覧ください。それでも原因が不明なときは、故障や部品破損の可能性があります。ご使用を止め、裏面の保証書をご覧になり、お買い上げの販売店、もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください。

アフターサービスについて

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書

保証書（本書添付）

- この商品には、保証書を添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をご確認の上、販売店からお受け取りください。
- 保証書に記載している内容は必ずお読みください。

保証期間

保証期間は、ポンプのみお買い上げ日より3年間です。

修理依頼について

まず、「故障かな?と思ったら…」(P.21)を参照して考えられる原因をお調べください。それでも異常があるときは、商品のご使用を止め、お買い上げの販売店または株式会社ケーブにお問い合わせください。

保証期間中は…

- 正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または株式会社ケーブが修理させていただきます。
- 修理依頼される際は、保証書をご提示ください。
- また、保証書記載2の有料修理に当てはまる場合は、保証対象外となります。詳しくは保証書をご確認ください。

保証期間経過後は…

- お買い上げの販売店または株式会社ケーブにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様の要望により有料にて修理いたします。

仕様

エアドクター

タイプ / 品番 (セット)		840/CR-238	900/CR-268
専用マットレス	品番	CR-279	CR-289
	サイズ (cm)	幅 84 × 長 192 × 厚 9	幅 90 × 長 192 × 厚 9
	重量 (kg)	3.3	3.4
	材質	エアセル: ポリウレタンフィルム表面シボ加工 抗菌 ベースシート: ナイロンオックス すべり止め加工布	
	エアセル本数	20本	
専用カバー (専用マットレス付属品)	品番	CH-279	
	材質	ポリウレタンフィルムラミネート加工布 防水 抗菌防臭 伸縮	
専用ポンプ	品番	CR-259	
	サイズ	幅 24.4 × 高 17.9 × 奥行 8.9cm (ポンプフック装着時 / 幅 24.4 × 高 18.2 × 奥行 14.5cm)	
	重量	1.8kg	
	材質	ケース / ABS樹脂、フック / POM樹脂	
	その他	定格: AC100V、5W、50Hz/60Hz ACコード長さ: 4m	



- ベッドのサイズに合うベースマットレスおよび専用マットレスを使用してください。
- 専用マットレスのサイズは基本寸法であるため、マット内圧の状態やご使用状況により多少異なる場合があります。

メモ欄

保証書

本書は、日本国内において取扱説明書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に本書記載内容にて無料修理させていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生したときには、本書と商品をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

※欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ずご記入の有無をご確認ください。
本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

1. 本書はエアドクター専用ポンプ(CR-259)の保証書とさせていただきます。
2. 保証期間内であっても、以下の場合には有料修理、または保証対象外となります。
 - ア) 取扱または操作が不適当であったため生じた故障。移動、落下等による故障および損傷。
 - イ) 当社(株式会社ケーブ)以外での分解、改造が加えられた場合。
 - ウ) 火災、地震、水害、落雷、塩害、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - エ) 接続している他の機器が、本商品の仕様に適合していないために生じた故障および損傷。
 - オ) 本商品以外に故障の原因がある場合。
 - カ) 保証書のご提示がない場合。および、保証書の所定事項に記入がない場合。
あるいは字句の書き換えが認められた場合。
 - キ) ポンプ本体に製造番号(シリアルナンバー)の表示がない、もしくは確認ができない場合。
3. 本保証書に記入してある販売店に修理が依頼できない場合は、株式会社ケーブにご相談ください。

無料修理保証期間(お買い上げ日)	年	月	日より	3年間
※お客様				
お名前	TEL			
ご住所				
※取扱店				
店名/住所/TEL				

株式会社 **ケーブ**

〒238-0013 神奈川県横須賀市平成町2-7
TEL:046-821-5511(代) FAX:046-821-5522
ホームページ: <http://www.cape.co.jp/>
E-mail: lovingcare@cape.co.jp